

櫻井玲二先生の御退職にあたって

櫻井玲二先生は、二〇〇二年三月末をもって定年で本学を退職される。

先生は、一九五四年に東京大学法学部をご卒業後、大阪商船株式会社に就職され、その後、合併による大阪商船三井船舶株式会社において法務保険部長などの要職を歴任された。また、一方では、社団法人日本船主協会の法規専門委員として、同協会を代表し、海運関係の国際条約に関する各種政府間国際会議に、十数年に亘って、日本政府代表の顧問として参加された。そして、一九八二年には、日本海法学会から、名誉ある小町谷賞を授与されておられる。

先生は、京都学園大学に法学部が創立された一九八九年に、保険・海商法、国際取引法の教授として着任された。また、学内では、大学評議員などの役職を務められた。

得がたい企業法務の出身者として、先生は、本学の運営と教育とに多大の貢献をされた。民間企業で培ってこられたバランス感覚は、学内外において遺憾なく発揮された。教授会でのご発言や、先生とご一緒に企業訪問をしたときなどに感服したことを改めて思い出す。また、詳細なレジュメを配布されるなど、周到に準備された先生のご講義が学生にとって極めて明解なものであったことは、法学入門のリレー講義の際に実感させていただいた。さらに、フレッシュマンキャンプなどの行事においても、実に誠実に学生に接しておられたことは、先生のお人柄を表すものであった。

今年度は、司法制度改革審議会の意見書が公表され、司法改革が緒についた年であった。それに伴って、法学教育も大きく変わっていくことが予想される。法学部は重要な転換点に差し掛かっているのである。この重要な時期に先

生が去られることは、法学部にとって大きな損失であるが、今後とも、これまでと同様の御指導と御鞭撻をお願い申し上げます。

京都学園大学法学会

会長 川本 哲郎